

農業者の皆様へ

環境にやさしい農業を

みえるらべるで

表示してみませんか？

みえるらべる（環境負荷低減の見える化）とは、農業者の皆さんが栽培の際に実施している温室効果ガス削減や生物多様性保全の努力を、簡単な手続きで消費者に伝えることができるものです。

温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

排出(農薬、肥料、燃料等) - 吸収(バイオ炭等)

★ : 削減貢献率5%以上
★★ : // 10%以上
★★★ : // 20%以上



※上記の商標は商標出願中です

生物多様性保全への配慮

<取組一覧>

※米に限る

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減 (5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点1点
★★ : // 2点
★★★ : // 3点以上

～令和6年3月の本格運用開始以降、全国の多様な店舗で販売が始まっています～



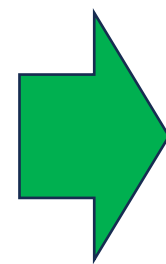
農林水産省
関東農政局

☆みえるらべる取組事例☆

A県 A氏（米 約10ha）

【取組内容】

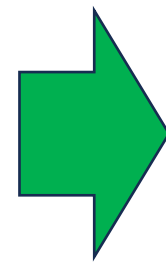
農薬使用量：殺虫殺菌剤不使用、除草剤 22%削減
化成肥料使用量：73～100%削減
堆肥施用、作物残さすき込み、草刈り機等による畦畔管理



B県 株式会社B（露地野菜等 約30a）

【取組内容】

農薬使用量：殺虫殺菌剤86～97%削減、除草剤不使用
化成肥料使用量：不使用
堆肥施用、作物残さすき込み、緑肥（クローバー）使用



☆みえるらべる取得の流れ☆

算定シート入手

栽培データ等
の入力

農林水産省
への報告

ラベル表示

まずはホームページ
からお申込み下さい。



お持ちの生産記録で
簡単に算定できます。

算定結果をご報告下さい。
登録番号を付与します。

商品やチラシなどにぜひ
ラベル表示して下さい。

☆みえるらべるの申請Q&A☆

○申請費用は？

→申請費用は一切かかりません。

○ラベル等の資材の準備は必要？

→資材は、上限はありますが提供可能です。また、ラベルデザインやPOP・チラシのデザイン例は、農林水産省HPからダウンロードできます。

○申請してからどのくらい時間が必要？

→HPから利用者登録後、平均2週間程度で登録が完了します。

○申請のために何が必要？

→栽培に使用した資材等がわかる栽培履歴をご用意ください。

○対象品目は？

→米、トマト（露地・施設）、ミニトマト（施設）、キュウリ（露地・施設）、ナス（露地・施設）、ほうれん草、白ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、温州みかん（露地・施設）、ぶどう（露地・施設）、日本なし、もも、いちご（施設）、茶の計23品目です。 ※括弧書きのない品目は露地栽培のみが対象となります。

※生物多様性保全の評価は、米に限ります。

お問合せ先

関東農政局生産部環境・技術課 みどりチーム 詳しくはコチラ
Tel: 048-740-0451 Email: mieruka_kanto@maff.go.jp

